

希学園 第404回 小4公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第404回公開テスト 小4国語 解説動画(2026年1月11日実施)	https://vimeo.com/1153112517/bb96f7d60d

1

計

羽子板

新春

4

放
つて

局面

進級

2

1
A

ウ

B
イ

C
エ

2
ア

大好き

イ

暗い

い

3

ここに

4
弱い

5
変わらない

6
イ

7

エ

8
I

2

II
1

III
1

3

1
a

オ

b
ク

c
カ

d
ア

2

A

エ

B
ア

C

イ

3

何よ
もの

4
(記述題)

5

P

エ

Q

イ

R

ウ

S

ア

6

ロ
ツ
ク
ス
タ
ー

(7 完答)

7

何
もの
に
つ
た
人
生

8
ウ

9

た

つ

オ

」

10

自分

」

意図

図

3

安定した地位を捨て、何らかの偉大な人物になろう
として人生を賭けたチャレンジを行うこと。

(同意可)

配 点	
1・2・3	各2点×13=26点
3	6点
その他	各4点×17=68点
〈計〉100点	

1

1 一年の計画は元旦に立てるのがよろしい、ということ。「国家百年の大計」などというときの「計」も「計画」の意味。
2 四季やそれにもなう行事に敏感であることは中学受験においては大切な感性となる。
3 日頃から身の回りの物事をよく観察していれば、どこかで知る言葉だろう。「春」の五画目の位置に注意。
4 右側の「父」(はくづくり)の形に注意。

5 「局面」は物事の状態、なりゆきなどといった意味。同音異義語である「曲面」とはきちんと区別したい。
6 「進級」は学年が上がること。小学校から中学校に進む場合などは「進学」という。

2

『きみの話を聞かせてくれよ』 村上雅郁 ※問題作成の都合上、一部表記を変更しています。

1 A：自分を責めるような悲嘆の気持ちを吐露していたが、はたと「自分」の存在を意識してけなげに笑ってみせている。B：それまで「なにも言わなかった」「自分」に突然、あらたまって名前を呼ばれたので驚いている。C：「涙」のこぼれる様子。
2 前書きの情報をしっかり押さえておけば、だいたいどんな言葉が入るかは見当がつくだろう。「大好き」で「尊敬」している部長のことだからこそ、その「暗闇」「暗い部分」にショックを受けるのである。
3 「教室に居場所のない子」でも部長を慕うのは、そこに「居場所」を見出すから。安心感のようなものだろうと類推したい。
4 一つ目の空さんの直前に、「たしかにおれは最初そう思ってた」とあるので、それ以前の梢恵の発言内の言葉だろうと見当がつく。続けて「それが悪いとは思わなかったけど、どうしたら強くなれるだろう…」って、考えてしまった」とあるので、「これってさ、私が弱いせいなのか」という梢恵の言葉を受けての発言であることがわかる。

5 空さんの七行後に「変わらなくていいだなんて！」という梢恵の発言があった。「変わらなくていい」という発言を兄がこまめにしているはずである。空さんの直後の「そのまま、いいよ」という内容もヒントになる。
6 二行後からの梢恵の発言において、「強いから」という言葉が「きずつかないから。きずついても、ちゃんと立ちあがれるから」という言葉に言い換えられている。これをさらに「くよくよ」しないこと、「ショックキングなことがあっても、いずれ前向きな気持ちにされる」こと、というふう言い換えることで選択肢の文言が作られている。

7 三澄先生は廊下で保健室内の兄妹のやりとりを聞いていたのだらう。二人のやりとりは最後、どう締めくくられたか。「よくがんばりました」というのは相手の努力をいたわり称える言葉。「ろう」という言葉もここで知っておきたい。

8 I：「出てって」という発言一つとればやや攻撃的な印象もあるが、「弱々しい声」で述べる「ごめん。すこし、ひとりにして」といった発言からは、「腹を立て」た感じはしない。II：「自分」の発言に、「今まで、おまえと向きあってこなくてごめん。なにもなくてごめん。なにも知ろうとしなくて、ごめん」とあった。III：保健室での兄妹間での激しい応酬に不用意に介入することなく、廊下で様子を窺ったのち、動揺しているであらう「自分」にさりげなく言葉をかけてくれている。

3

『断片的なもの社会学』 岸政彦 ※問題作成の都合上、一部表記を変更しています。

1 ア：似た意味の二字から成る。イ：反対の意味の二字から成る。ウ：上の字が下の字を修飾している。エ：上の字が主語、下の字が述語の関係。オ：上の字が動詞的な意味を持ち、下の字と「を」「に」で結ばれる。カ：上の字が下の字の意味を打ち消している。キ：下の字が上の字の意味を添えている。「的・性・然・化」の四字が目印。ク：省略語。「国連」は「国際連合」の略。a「礼を失する」の意。b「中途退学」の略。c「有利」の意味の「利」を打ち消す。d二字とも「自分自身」の意。

2 A：一見すると「だから」と「もちろん」とのいずれでもよさそうだが、Cで「もちろん」以外に適当なものがないと分かれば、「だから」が入ると決まる。「いちばん良い」のだからそれを選ぶのが「良い選択」だ、というごく単純な理屈。B：この前後で「良い社会」についての話題から「天才」がたくさん生まれる社会とは、どのような社会か、という話題へと移っている。C：「もちろん」といって一般論に譲歩しつつ、次段落の「だが」から先で筆者の所感を述べている。

3 「カネ」の話を直後で「人生」の話と重ね合わせている。「カネ」はあくまでも何かほかのものを手に入れるための手段であり、それだけをありがたがって貯め込んでいても仕方がない、といったこと。

4 「人生を捨て」ないならば「公務員」になる、という直後のたとえ話が大きなヒント。この後の本文から、「公務員」が「ロックスター」などの対比で、「無難な人生、安定した人生」を送る職業の代表例として持ち出されていることが分かっただろう。か。そうであるならば、その反対に「人生を捨てる」というのは「安定」を捨てて「賭け」に出るということである。何のためか。何を賭けるのかといえば、「何ものかになろうとする」ために「人生」を賭けるのである。記述問題では欠落した目的語などを補いつつ、手段や目的、因果関係といったあたりの情報もできるだけ盛り込んで、行き届いた説明を心がけよう。

5 かりに手段と目的とを「目的」↑「手段」という形で表すならば、「アメリカでロックスターになる」↑「ギターを練習する」↑「アメリカにある音楽の専門学校に入る」(【P】Ⅱエ)↑「英語の勉強をする」(【Q】Ⅱイ)↑「英会話教室に通う」(【R】Ⅱウ)↑「バイトをする」(【S】Ⅱア)となる。

6 「ある男子大学生」が安定を捨て、人生を賭けてなろうとしたものである。

7 「裏切られた人生」というのは、直前の一文にある「何ものかになれずにただ時間だけが過ぎていくような、そういう人生」の言い換えである。それは「賭け」に負けた後の人生である。

8 直後に挙げられる「音楽、文学、映画、マンガ」等を抽象化した言葉が入る。

9 「ひとりの手塚治虫」という言い方で、「手塚治虫に代表されるような天才的なマンガ家一般」といった意味を表現している。「提喻(シネクドキ)」と呼ばれる修辞技法。「人はパンのみにて生くるにあらず」の「パン」なども「物質的満足一般」を表す。

10 傍線部で述べているのは、いわば物事は時として自分のコントロール可能な範囲を離れたところで予期せぬ意味を持つことがある、ということ。「自分自身の意思や意図を超え」という点で、それは人生における選択と同種のもののなのである。